

フィールド風

(349)

宮田守男

7月上旬、まつもと市民芸術館で「健康寿命延伸都市・松本」プロジェクト企業連携事業として開催された松本信用金庫・講演会、

俳優・高橋英樹さんの「桃太郎の人生数え唄」を聴講する。松本市は、市民一人ひとりが主体となって健康寿命を延伸し、誰もが生きがいを持って暮らし続けることができるま

にしたいとの強い意向が伝わってきた。講師の高橋英樹さんが登場すると会場がざわめきたす。映画黄金時代に多数の作品に出演。遠山の金さん・桃太郎侍・3匹が斬る・十津川警部シリーズや

長生きの話は、これからの生き様だ

いや本人の努力...かも」など随所に笑いを入れる。生い立ちも面白い。父親は、高校の校長を務めた教職者。高校時代、映画館通いの毎日

ただと勘違いされたとの話は、大俳優のイメージを見事な程、身近な距離感にしてしまう。健康のテーマでは、母親を題材に話を組み立てる。父は63歳で逝去し、50回忌法要をした105歳までの生き様を紹介。「わがまま」・「自分のペースは崩さない」・「自分の食べたいものだけ食べ、特に肉は好き」・「毎日替えて、化粧し、ピ

まつもと市民芸術館入口の「松本七夕」に心温まる



「1つ、人の世の生き血をすすり、2つ、不埒な悪行三昧、3つ醜い浮世の鬼を、退治してくれよう桃太郎侍」を唱えるところ会場から大声援。時間があっという間に過ぎ去った楽しい講演でもあった。

(NPO法人信州地域社会フォーラム理事・白馬村森上)